

不登校対策の視点

未然防止と初期対応を中心に

～子どもも，保護者も，職員も，笑顔が交わせる学校であるために！～

深い子ども理解

- 職員は，子どもの出欠及び心身の状態を把握していますか。
- 職員は，子どもの特性を病気（起立性調節障害等）や発達障害の可能性を踏まえ検討していますか。
- 職員は，子どもの抱える課題（悩みや家庭状況等）を踏まえ，子どもの気持ちを理解しようとしていますか。
- 職員は，子ども一人一人の実態を踏まえて話しかけていますか。
- 職員は，ネットを介した子どもの友人関係を把握していますか。
- 職員は，傾聴と受容，共感等のカウンセリングマインドの視点で指導・援助を行っていますか。
- 管理職自らが，積極的に子どもに関わろうとしていますか。



「私の学校の魅力」

保護者理解（保護者との連携）

- 職員は，保護者とのコミュニケーションを図り，保護者（家庭）の気持ちに寄り添って，一緒に対応していこうとしていますか。
- 職員は，保護者がホッとできる声かけや，保護者の特性（実情）に合わせた話しかけができていますか。
- 職員は，保護者が相談をしやすい雰囲気を作っていますか。
- 職員は，保護者に対して，規則正しい生活への啓発はできていますか。
- 学校は，子どもの今とこれからの踏まえ，学校の思いや考えを繰り返し発信していますか。

居場所づくり・絆づくり

- 子どもたちは笑顔で学校生活を送っていますか。
- 職員の学級経営の実態を把握していますか。
- 子どもの視点で，学習内容及び学習方法を把握していますか。
- 職員は，子どもたちにとって分かりやすい授業を行っていますか。
- 職員は，子どもたちの主体的な児童会・生徒会や学級活動のための働きかけを行っていますか。
- 職員は，道徳の時間を要とした道徳教育を推進していますか。
- 職員は，子どもに自己存在感や自己有用感を味わわせていますか。（子どもが中心となった主体的な交流活動等を設定していますか。）
- 職員は，人間関係に悩む子どもの不安解消に努めていますか。

「学校のキャッチフレーズ」

実効性のある組織づくり

- 職員に笑顔（元気）がありますか。
- 学校での生徒指導の方針に一貫性があり，職員間で共通理解されていますか。
- 不登校傾向の子どもたちの情報を組織的に把握していますか。
- 別室登校の体制づくりはできていますか。
- 校内支援チームは機能（目標の設定，役割分担等）していますか。
- 職員は，「個別の支援計画」を活用して，多面的なアクションを根気強く継続していますか。
- 子ども等に関する個人情報管理されていますか。
- 一人一人の職員の業務や健康状態等に対して，寄り添った支援ができていますか。

幼小中高連携

- 幼保小間又は小中間，中高間で系統的，継続的な生徒指導体制ができていますか。
- 職員は，子どもの発達の段階と発達課題を理解していますか。
- 職員の子どもに対する褒め方や叱り方は，発達の段階に応じていますか。
- 職員自らが他校種を意識した取組をしていますか。
- 管理職間の連携はできていますか。

「不登校対策の重点」

職員研修・事例研修

- 子ども理解を踏まえ，職員のコミュニケーション能力向上のための具体的な実践研修が行われていますか。
- 子どもや，その家庭の状況等について職員間で情報が共有されていますか。
- ひとつの事案について，深く掘り下げた検討がなされていますか。
- ネット（SNS等）に関する研修は行われていますか。
- 「生徒指導提要」等関係資料等を活用していますか。
- 外部での研修等が，校内研修等で伝達されていますか。

関係機関等との連携

- 適応指導教室との連携はできていますか。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用していますか。
- 校区関係者，児童相談所，福祉部局，保健センター，警察等と連携はできていますか。